

2024(令和6)年度 在宅福祉活動助成 申請団体一覧

分類	団体名	活動目的・内容	助成額	ありがとうメッセージ
1	上高田ふれあいの会	住民相互のふれあいと連帯の輪を広げ、支えあう住みよい地域社会づくりをめざす。	132,000	当会は30周年を迎えましたが、ボランティアの高齢化等により30年を一区切りとして食事会を終了いたしました。長い間地域の皆様に食事会という居場所を提供できたことは、助成金なくしては成し得なかったと思います。厚く感謝申し上げます。今後は社協まちなかサロンで、ふれあいカフェと映画会を運営して地域の皆様には食事会とは違う居場所で喜んでいただけるよう頑張っております。区民の皆様ありがとうございました。
2	1・ボランティアコーナー やよいボランティアコーナー	地域住民(高齢者・障がい者・子ども)との交流と助け合いの輪を広げて行く事を目的に活動している。	157,000	恒例となっている年3回の会食会を行っています。七夕・クリスマス・ひな祭りの各行事に地域の高齢者を招いて手作りの食事の後、地域の方々による余興を楽しんでいただく催しをしています。参加される70歳以上の方々とお手と手を添えれば参加可能な方の楽しい催しです。コロナウイルス感染症も5類に移行しましたが、衛生・三密・おしゃべりせず等の規則の基、実施できたことに感謝です。 この会ができるのも歳末たすけあい運動に協力してくださる区民の皆様の温かいお気持ちのお陰と一同大変感謝しております。
3	オアシスなべよこ	鍋横地域の高齢者、障がい者、子育て親子の居場所提供、支援	180,000	毎月第3木曜日に「高齢者ミニデイ」を開催しており、地域の高齢者が20名くらい参加しています。参加者からは、「毎月とても楽しみにしている。」と喜ばれています。 また、地域の皆様に関心の高い演目にて講演会を行い、地域の皆様との交流を図っています。 このような事業ができるのも皆様の温かい心遣いのおかげと感謝しています。 ありがとうございます。
4	東部あいあいステーション	中野区東部地域において、住民の自主的な意思と協力によって、乳幼児から高齢者までがいきいきと暮らせる地域になるために、支えあいネットワークの拠点として、電話相談およびボランティアの調整などを行う。	60,000	東部あいあいステーションは、皆様からの募金によるご支援をいただき、昨年度も無事に活動することができました。ありがとうございます。お電話の中には、民生委員からチラシをもらったので、今は困りごとはないがかけてみたという高齢者の方もいらっしゃいます。地域の皆さんの小さな安心を増やすことにお役に立てていると実感する一コマです。これからも、スタッフは研鑽を積むとともに毎日の活動に真摯に努めてまいります。
5	ドロップインほっとほっと	子育て、子育て支援(0～3歳児を対象とした親子サポートを行うほか、世代間交流の場として、まちの活性化を目指す。)	104,000	いつもありがとうございます。 この度のバスハイクにママ達の感想が多く寄せられました。楽しかったのはもちろんですが、自信がついたり、同じ年頃の子やママの対応を見たり、話したりして得たものも多かった様です。 ここで得た自信や体験は日常を又違ったものにしてくれると思います。
6	きんぎょの会	乳幼児親子と地域の方との交流の場づくり 子育てに役立つ情報やスキルアップの機会を提供する。	83,000	子育てひろばの“おさんぽかふえドーナッツ”と子育てに役立つ事を学ぶ講座や子育て世代が地域の異世代の方々と交流する企画を助成金を使い実施しました。児童館がなくなり日常的に乳幼児親子が集える場がない地域なので、ささやかな活動でも乳幼児親子が集い楽しめる機会を提供することができ、地域のみなさまには大変感謝しております。

7	2・子ども支援・子育て支援	チャイルドライン中野子ども	チャイルドラインにつながる子どもの電話を受け、子どもがかかえる問題解決のため一緒に考えること、また、子どもの声を社会に発信していくことを目的とする。	105,000	この1年、電話とチャットをやってきました。電話は減少傾向にありますが、チャットは午前6～9時まで4台のパソコンを入力する音が響きます。家族のことが多く学校で配られたタブレットに入力していても隣にいる親にはわかりませんから。LGBTQもあります。私たち受け手の中でも家族問題の得意な人、LGBTQを持得とする人もいて、チャットでは情報交換をしながらPCに向かいます。いつも支えて頂き本当に有難うございます。
8		おやぎよう「虹のかけ橋」	親子関係をはじめ、あらゆる人間関係において、お互いに尊重し、思いやりの心を持ち、それぞれがひとりの人間として自立し成長していけるような人間関係を作り、促進することを目的とする。	69,000	心が通う「ことば」についてゆる～く考える会です。テーマについて、聞いたり話したりしながら、心理学を基にした「言葉かけのコツ」もお伝えします。「攻撃的な人への対応」「自己肯定感を少しずつ育む」「不登校に向き合う」などのテーマで行いました。地域の方々が、より笑顔になれる場づくりを継続できることに、心より感謝申し上げます。
9		kodomore	親子の居場所づくり、つながり作りとなるイベントの企画、実施。地域の交流を目的とした活動	186,000	私達の活動へのご理解、ご協力有難うございます。私たちの主な活動となる衣類とおもちゃの交換、譲渡会は地域の子育て中のご家庭から大変喜んで頂いておりますが、この様な運営が続けられますのは皆様のご支援があってこそとなります。自主財源のみではなかなか続けていけない活動ではありますが、今後も様々なイベント企画等と合わせて開催し、少しでも活動の頻度を増やし、充実させていきたいと考えております。
10		えほんが	中野区に住む親子の楽しめる憩いの場を作って、絵本や音楽でたくさんの体験ができる会を開催することで、子育てを応援し、地域の繋がりを交流の促進を図る。	20,000	2024年は、絵本読み聞かせ活動と共に音楽会を会場をレンタルして開催し、その音楽会会場代に助成金を使わせていただきました。小さい子どもから大人まで音楽が大好きという方々が集まってピアノや歌、何でも自由に楽しめたらOK!をモットーに開催しました。その場でみんなでセッションしたり、何年かぶりに弾くよという人が弾いてくれたりとても楽しい音楽会になりました。また来年も開催したいです。
11		上鷺テラス ベビーカフェ ぽっこり亭	子ども食堂事業、高齢者・母子・精神障害者相談事業等の地域福祉活動を通して、地域の福祉課題に取り組むとともに地域の人々との交流を図る	191,000	1歳未満のベビーとママたちの交流と居場所の集いです。スタッフによる保育も行い、その間ママたちは子どもと離れて、食事をしながら、様々な悩みや苦勞を共有しました。特別企画として、栄養士による離乳食のお話や、専門トレーナーによる親子体操も行いました。ママたちの心と体のリフレッシュに役立ってくれたものと考えています。区民の皆様のご支援に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。
12		Nakano Clover	地域の多胎児ネットワークの構築	192,000	中野区民のみなさま このたびは、Nakano Cloverへ募金して下さり大変ありがとうございます。 私たちは、多胎児ならではの悩みや喜びを共有する場を提供するために活動をしています。毎月1回交流会をしておりこれまで多くの多胎児のみなさまとつながりをもてました。子供達も毎月会えるのを楽しみにしており中野区の子育てを楽しくするという活動ができております。本当にありがとうございます。

13	(新規)こころのサポート びよぼこ中野	妊娠・出産・子育てに関わる傷つき体験がある方に対し、安心して話せる居場所の提供を通して、グリーフサポートをする。	100,000	当団体は流産・死産・人工死産など辛い経験をされた方同士が同じ時間を過ごし、気持ちをシェアする場所です。当事者は、どこでも誰にでもこのような経験をお話することはできません。 同じ経験をした人同士だから気持ちを話せ、気持ちを安心して共有できる事もあります。 その様な場所を1年間開催できたのも、今年度いただいた助成金のおかげです。 今後も、継続してこの場所を維持できるよう頑張っていきたいと思います。
14	(新規)フリースクールい とーitoー	こども一人ひとりの気持ちを大切に、ありのままの自分であられる居場所を提供することで、「楽しく幸せな生き方」の体得を図る。	200,000	この度はご寄付をいただき誠にありがとうございました。学校に行きづらい子どもたちの居場所を作ることができました。また不登校やひきこもり支援の専門家などを講師に招き、イベントを開催することができました。不登校やひきこもりで悩む多くの親御さんたちに感謝の言葉をいただきました。本当にありがとうございました。
15	(新規)つくる・つながる 会	クリエイティブな力で日々をより良く過ごすことを目的とした、「こども」・「アート」をキーワードにしたコミュニティづくりを目指す。	157,000	助成金を活用して開催したイベントの参加延べ人数が、昨年度から約11%増となり、認知度が高まったことで支援者も増え、活動に賛同してくれた参加者がボランティアスタッフとしても関わってくれる等、地域での支え合いとして、良い効果が生まれていると感じています。参加者からは「家庭でなかなかできない経験ができて嬉しい」「帰宅後も子どもが楽しそうに遊んでいる」というお声を多く頂きました。ありがとうございました。
16	オレンジカフェ とんぼ	認知症の方やその家族、また、地域の方や専門家が集う場所を提供することにより、認知症の方や家族の不安を和らげ、必要に応じて個別相談や関係機関につなぐことを目的とする。	80,000	今年度も週に一回カフェを開催し、高齢者の方・軽度認知症の方・地域の方が一緒にからだを動かしたり音楽を楽しんだり、また悩みを相談したりできる居場所をつくることができました。何よりもみんなでおしゃべりをし、大きな声で笑い過ごす時間はとても貴重で、また今日から元気に頑張れますと皆さん喜んでくださっています。今後も笑い声の絶えない居場所を作っていきたいと思っています。ありがとうございました。
17	オレンジカフェさぎのみ や	認知症の方やその家族、介護・医療の専門職、地域の方々など誰でも参加でき安心して過ごせる集いの場であるオレンジカフェを開催・運営することを目的とする。	200,000	当オレンジカフェさぎのみやは、毎月1回鷺宮区民活動センターで誰でも参加できるオレンジカフェを開催しております。カフェは、高齢者が交流を図り、認知症予防や健康維持などの講演を聞き、ピアノ観賞、体操、折り紙などをして楽しんでいます。近年地域では一人住まいで孤立している高齢者が多く、カフェはこれらの方々を集いの場となっていると共に介護の専門職の方も参加しており認知症に対する理解を深める場ともなり、カフェの開催は地域社会に貢献しています。 カフェの開催・運営が、区民の皆様の募金を元に中野区社会福祉協議会から活動助成を受けスムーズに行うことが出来ております。心から感謝申し上げます。
18	(新規)にこにこ茶屋	定例的なオレンジカフェの実施を通して「子育てから看取りまで」の悩みを話せる居場所を作る。	200,000	区民の支え合いの暖かいお気持ちの募金から初めて補助金をいただき活動できました。 認知症の家族の方、ひとり暮らしの高齢者、中でも男性の方が多いオレンジカフェ、ウォーキングの中で元気を取りもどし明るい笑い顔に変わってもらえることが事業を続けていく私たちの力ともなっています。 新年度もこれまでの企画に加え、食と健康をテーマにスタートしてまいります。お寄せいただくみなさんの思いに感謝を込めて。

19	なべカフェ	地域交流の場づくりと地域の連携を図る。	40,000	「なべカフェ」を始めて9年が経ちました。コロナで中止していた「ランチ」も月1回再開しました。若いスタッフやICTサポーターの協力を得て、交流の輪も広がりました。世代をこえて笑顔あふれる地域の居場所をこれからも育てていきたいと思っています。
20	中野傾聴ボランティア	き お話を聴くことを通して触れあう全ての人たちと私たちが幸せで平和な楽しい人生を送ることを目的としている。	35,000	私たちの活動は予約制、一対一でお話を聞く活動が主になります。チラシを「区民のひろば」に貼り、区民の方からの電話のつながりが唯一の予約手段となっております。今まで個人の電話で対応していたのですが、助成頂いたおかげで、「きくぞう」の電話として独立することが出来ました。特定個人への負担を少なくすることができましたことは大変ありがたく、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。
21	特定非営利活動法人女性のスペース結	女 DV防止を目的とし活動する団体であるが、支援の中で性的マイノリティの課題に直面し、中野区で取は性的マイノリティの若者の居場所を作り、だれもが安心して生きられる地域を目指す。	5,921	歳末たすけあい運動に募金してくださった皆様、本当にありがとうございました。皆様のご協力により、当団体が行う居場所事業の継続ができました。参加者の方は人に話づらい悩みを抱えていることが多く、そのため、居場所へ来て相談される機会が重要です。自分のことを人に話せる場所として、居場所が多くの方を支えたことは間違いありません。今後もこの活動を続けていくためにどうかご協力をよろしくお願いいたします。
22	特定非営利活動法人ゆるナカ	4 その他 おもちゃの広場を通じて地域尾高齢者や子育て中の親子・障害者・若者など地域の様々な世代の人々が集い交流の場を提供することを目的とする。孤立の解消・介護予防・ケアラズケアなど世代間交流の促進につなきたい。	200,000	本事業の実施に当たり、当団体では地域住民とのつながりを大切にし、日常的な関わりを通じて信頼関係を築くことを重視しました。特に地域密着型の「産後カフェ」や「オレンジカフェ」などの別事業と連携することで、多世代が集まりやすい環境づくりを行いました。 また、近隣の町会・商店会や法人会の活動にも積極的に参加し、地域内での顔の見える関係を築くことに努めました。店舗や会場前では、スタッフや関係者が常に挨拶や声かけを心がけ、通りがりの方とも気軽に会話が生まれるような空気づくりを行っています。 このような地道な活動の積み重ねが、地域住民同士の新たなつながりや情報交換の機会を生み出し、地域全体のつながりの広がりにつながったと感じています。 歳末たすけあい運動にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。
23	中野ハナミズキの会	地域の多世代交流を主として絆づくり。特に他団体との横のつながりのネットワークを作る。また、地域資源(ハナミズキ)を核として、若い世代からの発信を強化する。	16,000	いつも、ありがとうございます。 今年度は事務局の能津が二度の入院の為、活動が思うように行かず、サポーターさんの力を借りてなんとか活動してきました。予定していた外向けの企画は小さくなりましたがTVの力を借りて江古田ハナミズキをアピールすることができました。来年度もよろしくお願いいたします。
24	中野まちのエンガワ・プロジェクト	中野における地域文化の進行、まちづくりの発展	120,000	「まちのエンガワ」は、毎月さまざまなアートやあそびの要素を取り入れたプログラムやワークショップを参加者みんなで一緒に開発しています。プロ・アマや、老若男女問わず誰でもが地域活動につながるきっかけになっています。助成金のおかげで、継続的に活動ができ、おもに江古田・上高田地域の子ども・子育て中心の地域イベントや中野区内のまちづくりの活動に貢献することができました。ありがとうございました。

25		旅するカフェ	地域の多世代交流を目的にし、誰もが参加できる歴史講座を開く。	130,000	イベント・バスツアーで使わせて頂きました。足腰の弱い高齢者が多い中、歩かないツアーです。車窓から江戸をしのびながら、動く移動教室！として楽しんで頂きました。 元気な高齢者ばかりが旅するのではなく、弱者に寄り添うことでみんなで縁をもてました。 助成金あつての講座なので大変、有難く使用させて頂きました。
26		(新規)中野の図書館と歩む会	図書館の情報を提供し、図書環境や読書環境をより良くすることを目指し、生涯学習の機会づくりを図る。	193,000	東都区民活動センターでは初の「本の交換会」に、多くの方がたくさん本を持ってきてくれました。そしてまた、本を抱えて嬉しそうに帰っていきました。様々な本との出会いがあったと思います。この交換会を通して地域の人との交流とリサイクルの輪が広がることを願っています。参加して下さった皆さん、本当にありがとうございました。「また参加したい、本を捨てずに待っている」との声も励みになりました。